

平成 22 年度日本海ブロック水産業関係試験研究開発推進会議  
日本海漁業資源・海洋環境研究合同部会報告

日時：平成 22 年 11 月 11 日（木）10 時～17 時

場所：ホテルディアモント新潟（新潟市）

参加機関：15 機関 35 名

議 事	議 事 概 要
<p>開会</p> <p>(1) 報告事項</p> <p>1) 平成 21 年度日本海漁業資源・海洋環境合同部会に対する要望事項に係る対応状況</p> <p>2) 平成 22 年度水産研究実施概要及び平成 23 年度研究計画概要</p> <p>3) 研究会などの活動状況</p> <p>(2) 協議事項</p> <p>1) 平成 22 年度水産研究成果情報候補課題の検討</p>	<p>開会、挨拶、自己紹介のあと報告事項は日本海海洋環境部長、協議事項は日本海漁業資源部長の座長で議事が進められた。</p> <p>○平成 20 年度合同部会に提出された要望事項のうち、平成 21 年度部会で引き続き対応が求められた「日本海の温暖化に伴う冷水性魚類の分布変化の整理」及び「定線観測検討会の開催」について、日水研から対応状況の説明があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「日本海の温暖化に伴う冷水性魚類の分布変化の整理」については、日水研が、マダラ、スケトウダラ、カレイ類の漁獲状況及び分布変化に関する資料を提出し、それをもとに意見交換した。底層水温の変化の実態が未解明なこともあり、今後この問題を継続して意見交換していくことになった。</li> <li>・「定線観測検討会」については、本年 1 月に開催し、燃油高騰等による予算不足に伴う定線観測調査の今後のあり方等を協議したこと、及びその結果について報告があった。</li> </ul> <p>○12 府県および日水研 2 部から概要の説明と質疑が行われた。</p> <p>○22 年 1 月 26 日に開催された資源研究会について報告があった。本年度は 23 年 1 月 18-19 日にガレツソホールにて開催予定で、漁具改良に関するミニシンポを含む計画であることが紹介された。</p> <p>○府県から提案された成果情報候補課題のうち、以下の 5 課題について提出機関からの説明と質疑が行われた。部会における検討をもとに修正が必要なものは修正を条件として採択した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日本海におけるカタクチイワシ春季産卵群の重要餌生物、カイアシ類の分布密度と水温の関係</li> <li>・ ズワイガニ資源の持続的利用のための水ガニリリースの効果</li> <li>・ 漁船の操業を利用した水温鉛直分布データの収集</li> <li>・ クロマグロやけ肉軽減マニュアルの作成・普及</li> <li>・ 日本海海況予測システムを用いた日本海沿岸域におけるスルメイカの漁期・漁場予測手法の開発</li> </ul>

<p>2) 漁業資源・海洋環境 研究合同部会に対する要 望事項</p>	<p>合同部会に本年度提出された下記の研究ニーズについて、提案機関から説明があり、今後の合同部会としての対応方針について協議が行われた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「VMS（船位位置報告装置）の沿岸漁業への導入技術開発」については、水工研が主体となって対応し、新資源管理指針・計画の履行確認の手段の1つとしての可能性があることから、今後も部会として注目して行くことで了承された。</li> <li>○「体液白濁ズワイガニの動向について」に関しては、関係機関と連携を取りつつ情報の共有化を図ることで了承された。</li> <li>○「底魚類加入量把握による資源評価の高度化」については、日水研が関係各県との連携を強化し、調査全体のとりまとめ及び解析手法の検討に協力することで了承された。</li> </ul>
<p>(3) その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○技会実用技術開発事業に本年度も提案中の「日本海西部底魚」課題の進捗状況について島根県より説明があった。</li> <li>○高水温化現象に関して各府県、水研間で情報交換を行い、1月の魚海況予報検討会において担当者間でさらに検討することとなった。</li> <li>○水産庁予算の補助金化に伴う沿岸定線観測実施における問題点について意見交換を行った。各府県とも定線観測の実施における燃油費の支出に支障が生じ、特に沖合定線を有していない5府県に大きな影響があることが指摘された。</li> <li>○日水研から本年度の大型クラゲの出現状況の概要について説明があった。</li> <li>○水研センター本部から、来年度の水産庁事業関係予算について説明があった。府県からは次年度より契約において採用されるJV方式の進め方に関する質問があった。</li> <li>○開発調査センターより、センターの事業内容の説明があり、府県との連携を深めたい旨の表明があった。</li> </ul>
<p>閉会</p>	